

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和3年12月10日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1			適切な基準は十分に満たしています。 現在のコロナ禍においては3密を避け机の配置や児童、職員との適切な距離を確保しています。	コロナ禍の為、今後も適切な距離を保てるよう職員間で話し合いを進めてまいります。
	2			配置数は十分に足りています。 送迎や、その日の利用児童の人数を確保しながら適切になるように配置しています。	今後も適切な配置を維持することでより良い支援をおこなっていくことが出来る様努めてまいります。
	3			手すりなどのバリアフリー化の配慮は適切にされています。	現在対象児童がいらない為、バリアフリー化はされておきませんが、今後には向け、敞直話し合いの場を設けていきます。
	4			毎日の朝礼や全員参加の定期的なフレクシオン会議を開催し、目標の設定や振り返りをおこない、業務改善に努めています。	全職員で目標設定や振り返りを実施していくことで業務改善をおこなっていく様、会議の場を設けてまいります。
業務改善	5			今回が初めてのアンケートとなりますが保護者様一人ひとりのご意向を伺い業務改善に繋げていきたいと思っています。	集計結果に基づき、職員間で話し合いの場を設けることで、業務改善に繋げていく様に努めてまいります。
	6			今回の自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しています。	今年度より公式 Web サイトにて評価表を公開してまいります。
	7			第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8			職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	本社作成の研修動画を視聴して全職員の資質向上を図ってまいります。
適切な支援の提供	9			保護者様の意向をしっかりと聞き児童の特性や課題を把握したうえで、よりよい支援をおこなえるようアセスメントを適切に実施しています。	今後も送迎時やその他あらゆる機会に保護者様との会話の場を設け、また定期的にモニタリングをおこなうことで保護者様のご意向を確実に踏まえた放課後等デイサービス計画を作成してまいります。
	10			会社で統一化されたアセスメントシートを使用し、内容をもとに支援計画の作成へと繋がっています。	より良い支援計画を目指し、今後も継続してアセスメントをおこなってまいります。
	11			全職員で話し合い、児童の特性や課題に応じて、常にチームで立案しています。	今後も常にチームで立案することが出来る様、全職員での話し合いの場をしっかりと設けてまいります。
	12			習慣化、定着化を狙い、日々の活動プログラムはあえて固定化してはいますが、児童が楽しく活動できるように季節ごとの行事やイベントを取り入れるなど工夫しています。	充実した活動時間を過ごす事が出来る様、学習支援のみならず季節ごとの行事やイベントを取り入れることで、楽しみながら活動をおこなえる様、努めてまいります。
	13			平日は、限られた時間内でおこなえる課題を設定し、各児童に似合った取り組み内容をおこないます。 また、長期休暇では、集団での関わりや体を動かすリズム遊び等を増やすなどの支援を行っています。	基本的に学習支援が中心ではありませんが、長期休み等充分に時間があるときには、他児との関わりの中で成長を促していくことが出来る様に集団活動を取り入れる等、きめ細やかな課題の設定に努めてまいります。
	14			児童の状況や保護者様のご意向や聞き取り調査をもとに個別指導、少人数集団指導の希望に沿って指導計画を立案しています。	児童の状況や特性に合わせた個別活動や集団活動を組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成してまいります。
	15			全職員でミーティングをおこない、その日の支援内容等を確認しています。	今後も継続してミーティングをおこない、その日の支援内容や役割分担について確認してまいります。
	16			必ず毎日、職員一人ひとりが感想や気づき、問題点などを発表する場を設け、共有できています。 勤務時間の関係で帰宅している職員には翌日の朝礼にて必ず報告をおこなっています。	全職員で情報を共有することで、状況に応じた適切な支援内容へと反映出来る様努めてまいります。
	17			毎回、日々の記録を取っています。 また職員全員で情報を共有しています。	今後も正確理解の元、全職員で情報共有が正確におこなえる様、確実に記録を残す様に努めてまいります。
18			半年に1度おこなっていく予定です。	半年に一度、しっかりとモニタリングをおこなってまいります。 また必要際には期間に拘らず見直しをおこなってまいります。	
19			定期的に保護者様との面談をおこない、児童の発達状況や様子、保護者様のご意向を検討してガイドラインから必要な項目を選定し、支援内容を設定・提示しています。	基本活動に加え、事業所の独自性として言語訓練を中心に児童の特性に合わせた活動を積極的に取り入れてまいります。	
関係機関や保護者との連携	20			サービス担当者会議には児童の状況に精通した児発管が参画しています。	積極的に参加をすることで、関係機関との連携を密に図っていくことが出来る様努めてまいります。
	21			児童の様子や送迎時のルール等について、学校への確認をおこなったり情報共有を行っています。	今後も学校側や保護者様との情報共有に努め、適切な支援をおこなっていくことが出来る様、努めてまいります。
	22			現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について探索してまいります。
	23			就学前の様子についても関係機関から状況が把握出来る様に努めております。	関係機関との連携を密に図っていくことで、情報共有と相互理解に努めてまいります。
	24			現在までに該当児童がいません。	今後、児童が卒業する場に向け、円滑に卒業等の情報提供をおこなえる様、日頃からしっかりと記録等を残してまいります。
	25			コロナ禍であるため、リモート等を使用し、子ども部会の研修に毎回参加することで情報を得ています。	子ども部会・通所分科会は2か月に1回開催されるため、リモート会議等を通してこれからも積極的に参加し、研鑽に努めてまいります。
	26			コロナ禍でもあり、現時点では交流機会はあります。	コロナ収束後は保護者様のご意向をいただきながら交流に関して検討してまいります。
	27			2か月に1回子ども部会・通所分科会が開催されており、リモートなどを通して参加しています。	子ども部会・通所分科会へは今後も積極的に参加してまいります。
	28			送迎時にしっかりと様子をお伝えしています。 また保護者様と積極的な意見交換をおこない、より良い支援へ繋がっています。	今後も送迎時やお迎えの際に、保護者様と積極的な意見交換をおこなうことでより良い支援へ繋がっていく様努めてまいります。
29			保護者様からのご相談は丁寧に聞き取り、助言やご提案をさせていただいています。	保護者様の不安や悩み事がある際に、少しでも解決への糸口となる様、事業所からも積極的な働きかけをおこなってまいります。	
保護者への説明責任等	30			契約時に重要事項説明書に基づき、説明をしっかりと行っています。 その後も内容に変更があった際には、保護者様に必ず丁寧に説明をしています。	今後も丁寧な説明を心がけ、ご説明いただけるまで、しっかりと説明をおこなうことが出来る様努めてまいります。
	31			送迎時や電話等で相談を受けた際には随時対応に努め、日頃から相談しやすい環境作りを心掛けています。	情報の提供や共有を図り、保護者様との信頼関係の構築と共通理解に努めてまいります。
	32			コロナ禍もあり本年度は父母の会を開催する機会を持つことができませんでした。	コロナ禍にある現時点では保護者会は実施しておりません。 今後の実施に関しては、コロナ禍が落ち着いた後に検討してまいります。
	33			契約時に重要事項説明書に基づき、説明をしっかりと行っています。 その後も内容に変更があった際には、保護者様に必ず丁寧に説明をしています。	心がけて丁寧な説明をしやすい環境作りを今以上に参ります。 また保護者様からのご意見には積極的に耳を傾け、連携を図っていくことが出来る様努めてまいります。
	34			季節ごとに「おたより」を発行し、公式 Web サイトのブログにて事業所の様子をお伝えしています。 またサイトについては、保護者様へご案内を配布しています。	定期的な会報、公式 Web サイトでの活動報告は今後もおこなってまいります。 また今年度からは月の行事等を細やかに記載し、前月の行事の様子を写真にて発信していきける様「子どもカレンジャー」の配布を予定しております。
	35			写真掲載など個人情報に関わる場合には、保護者様の確認や書面により同意を得ています。 また、個人情報ファイルは鍵付き書庫にて保管しています。	今以上に個人情報の取り扱いに注意していきける様、定期的な話し合いの場を設けていきます。
	36			保護者様の状況や児童の特性に合わせた情報伝達や意思の疎通の配慮をしています。	児童の特性や状況に合わせた伝達方法を取り、また保護者様にも丁寧で分かりやすい情報の伝達を心掛けてまいります。
	37			コロナ禍でもあり、今年度は地域住民をご招待する機会を持つことが出来ませんでした。	現時点ではコロナ禍であり慎重に検討を行い、タイミングを図っている状況です。 今後、現在の感染症リスクや事態の収束が見られる時点で、保護者様のご意向を踏まえ、地域イベントに児童と参加する等、交流の機会を検討してまいります。
	38			事業所内にマニュアルや対策を掲示し、保護者様にもお伝えしています。 また年間計画を立て、訓練をおこなっています。	保護者様が確認しやすいよう掲示場所への飛出し、緊急時（他者へ危害を加える可能性がある場合など）児童の命に関わる状況が発生した場合に限り、止むを得ず抱いた状態で移動させる場合があること等を保護者様に十分に説明を行い、同意を得て個別支援計画に記載しています。
	39			避難訓練は児童の特性に応じた参加の方法を考慮して、実施しています。	児童の命を守ることを第一に考え、今後も定期的に避難訓練をおこなってまいります。
非常時の対応	40			虐待に関する研修を行い、虐待防止マニュアルに沿って対応しています。	研修には積極的に参加し、全職員が虐待防止への適切な認識一致を図ることが出来る様、努めてまいります。
	41			契約時に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文書による保護者様の同意を得ることにしています。	原則として身体拘束をおこなわない基本姿勢を守りながらも、緊急時（他者へ危害を加える可能性がある場合など）児童の命に関わる状況が発生した場合に限り、止むを得ず抱いた状態で移動させる場合があること等を保護者様に十分に説明を行い、同意を得て個別支援計画に記載しています。
	42			契約時に保護者様から聞き取りをおこない、把握できるようにしています。	利用開始時に必ず保護者様へ確認をし、必要な場合には医師の指示書を事業所に提示することで全職員が周知出来る様努めてまいります。
	43			ヒヤリハットがあった際には報告書を作成し、職員間で話し合いの場を設けています。 またいつでも振り返りがおこなえる様、ファイルに閉じ保管しています。	今後も報告書をしっかりと記載し、職員間での認識一致をすることで事故防止の様に努めてまいります。 また定期的な振り返りを行ってまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。